



2021年 6月 2日
第142号

JR 東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 助川一実

編集情宣担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



「2021年度駅業務執行体制の再構築について」 提案受ける！③

2021年6月2日に、「駅業務執行体制の再構築について」の提案を受けました。提案を受けた時の主なやり取りは以下の通りです。

- 組合) ボリュームもあり、大きな変更で、人の異動もあるので、今後団体交渉もしていきたい。冒頭提案していただいた内容を進める根拠は何か。
- 会社) 少子高齢化やネット社会、新型コロナウイルス感染症拡大等、当社を取り巻く環境や逼迫している要員需給を解消するために実施したい。
- 組合) 窓口閉鎖や削減の基準は何か。販売実績等、目安を教えてください。
- 会社) 目安としてはお客さまのご利用状況、発売している乗車券類等を考えてやっている。
- 組合) 先日発表された「現業機関における柔軟な働き方」を見ると、営業職場における働き方には関係性があるのか。
- 会社) 総体として環境が変わり、今ある人材や必要な人材を確保しながら、人にしか出来ないものや機械に置き換えることもしながら生産性をあげていく。
- 組合) 削減した窓口のマルス端末の扱いはどうするのか。
- 会社) マルス端末はリース期間もあるので、リース期間満了までは、マルス端末の利用は可能である。横浜駅や川崎駅など窓口の体制は、実施日より提案の体制となるが、混雑等でマルス端末を利用しての販売は可能である。
- 組合) 大船駅東海道下り、東神奈川駅、鎌倉駅の乗降終了合図の省略とあるが、どのような対策を行うのか。
- 会社) 車掌用 I T V の増設などの整備を進めていく。
- 組合) 保土ヶ谷駅の業務委託に至った会社の考え方を教えてください。
- 会社) 今までの考え方とは変わらない。保土ヶ谷駅の工臨も、新しい機関車を利用するので入換が必要なくなる。しかし、ATOS 端末の操作が必要になるので、そこは支社の社員や本体社員が扱う。

**団体交渉を通じて
安全で安心して働ける
職場を実現しよう！**

